

---

# 中国人日本語学習者の場所を表す格助詞「で」と「に」の 習得に影響する諸要因

---

初相娟（名古屋大学大学院・天津外国語大学）・  
玉岡賀津雄（名古屋大学）・早川杏子（名古屋大学）

**要 旨** 本研究は、中国人日本語学習者を対象に、場所を表す格助詞の「で」と「に」の習得においてユニット形成と中国語の「在」の干渉があるかを検討するために、48問の調査文に対して、(1) 動詞の難易、(2) 自他動詞、(3) 格助詞の前に来る名詞の場所・位置の別、(4) 格助詞の「で」「に」、(5) 読解力の5つの変数を設定し、格助詞の正誤を予測する分類木分析を行った。読解力は、201名の中国人日本語学習者に対する16問の読解テストの得点で上・中・下位群に分けた。分析の結果、読解力で分けた上・中・下の群の影響が最も強く、読解力が上がるほど、場所を表す格助詞の正答率が上がっていた。さらに、上位群では、場所と位置の影響が見られ、場所では動詞の難易、位置では格助詞の「で」「に」が影響していた。中位・下位群では、動詞の難易、その次に動詞の自他が影響していた。ユニット形成は上位群の位置の場合のみ見られ、「在」の干渉は見られなかった。このことから、場所を表す格助詞の「で」と「に」は、読解力別に動詞と名詞の特性が複雑に影響しながら習得が進んでいることがわかった。

**キーワード** 格助詞の習得 ユニット形成 分類木分析 中国人日本語学習者

## 1. 研究目的

多くの日本語学習者にとって、場所を表す格助詞「で」と「に」は使い分けが難しいと言われている（久保田 1993, 迫田 2001, 津留他 1998, 蓮池 2004a, 2004b, 福間 1996, 水谷 1987, 吉川 1987 など）。たとえば、次のような誤用が見られる。

- (1) \*ここにタバコを吸ってもいいですか。
- (2) \*今東京のアパートで住んでいます。(市川 2005)

上記の(1)と(2)のような誤用が現れるのは、学習者が格助詞の前の名詞を選択のヒントとし、「場所+で」「位置+に」というユニットが形成されているからだという指摘がある（迫田 2001）。また、とりわけ中国人日本語学習者にとっては、(1)と(2)の正用文の場合、「ここでタバコを吸ってもいいですか」（可以在这吸烟吗）、「今東京のアパートに住んでいます」（现在住在东京的公寓）のように、場所の「で」と「に」はともに中国語